



につさい

【校訓】自ら

【学校教育目標】

考える子・思いやる子・げんきな子

笑顔あふれる学び合う学校を目指して

入西小学校 令和3年12月1日 校長・太田 久美子

笑顔あふれる学び合う学校を目指して

今年度の学校のミッションである「笑顔あふれる学び合う学校」づくりを目指して、日々教育活動に勤しんできました。そんな学校をつくるために次の3点について教職員全員で取り組んでいます。

(1) 笑顔あふれる学び合う児童について

- ①できた！わかった！と言える学びのある授業
- ②縦割り活動を充実させ、自己有用感と異学年との繋がりづくり
- ③「わからない」から「教えて」と言える人間関係づくり
- ④子供が主体的に取り組む楽しい行事

大きくはこの4つの視点で取り組んでいます。そのおかげか子供たちは「先生、あのね…」と担任だけでなく学校にいる教職員誰にでも、話すことができます。先生の腕にぶら下がって歩く子の姿も見られます。誰とでも遊ぶことができます。集団活動に苦手さを感じる子供も、行事に参加することができます。たくさんの笑顔と支え合う子供の姿を見てきました。

(2) 笑顔あふれる学び合う教職員について

- ①「45分間学び続けること」のできる授業の構築をめざす研修の実施
- ②「どうしたの？」と子供に寄り添う生徒指導の実施
- ③教職員の横の繋がり、縦の繋がりを充実させる職員室経営
- ④自分の健康、家族の健康に気を配ることのできる元気な体と心をもつ働き方

この4つの視点で取り組んでいます。この中でも①②は難易度の高い視点です。特に①は年に数回、4時間の短縮授業をしてまでも実施している校内研修全体会で学んでも、互いに授業を見合っても、なかなか工夫できません。「学び続けるためには、どんな課題が適しているか」と考えながら授業をしているところです。この「学び」は、書いているだけ、写しているだけは含みません。「考える」ことを主にした45分間。教員として、チャレンジし続けています。

(3) 笑顔あふれる学び合う家庭・地域について

- ①コロナ禍でも繋がりを絶やさない
- ②大人の学ぶ機会をつくる

このコロナ禍において、学校内に大人を入れることに抵抗感がありながらも、今だからこそ「繋がり」を絶やしてはならないと感じ、あの手この手で繋がりを作ってきました。特に行事では、分散型での実施を多く取り入れながら、五感で感じ取る学校の空気感を大事にしてきました。また、メールやMeetなどICTを活用しながら、情報発信をしてきました。

先日、今まで通りの授業参観・保護者会を開催しました。「保護者1名のみ参加」という制限はつけたものの「生の授業」と「顔を合わせての懇談」をメインに企画しました。10月に行った「オンライン授業参観」も参加していただいた保護者の方にはおおむね好評でしたが、「部分」の参観ではなく「全体」の参観は、やはりわが子を客観的に観る良い機会として、大事にしていきたいと思えます。また、懇談会でも「学び」を意識して話題として取り上げました。マスク越しではありますが、互いに顔を見合って「共通の話題」を考え対話することが、保護者の皆様の「笑顔」と「真剣さ」を生むことも改めて感じました。PTAの活動も、オンラインと対面とをうまく織り交ぜながら行っています。今後の活動にまた進化が見られそうです。

そうすると、いよいよ地域の皆様との「繋がり」を考えていく時期となります。コロナ禍とはいえ、登下校の見守りや稲刈り等の体験活動のお手伝いなど、子供との距離をとってではありますが続けていただいています。本当にありがとうございます。このあとも感染状況を見ながらにはなりますが、地域の皆様と「繋がり」を感じられる工夫をしていきたいと思えます。その時には、どうぞよろしく願いいたします。



12月お話集の話…賞状伝達もあったので、短めに…

明日からよいよ12月に入ります。令和3年の最後の月です。

この12月を「師走」といいます。普段落ち着いている先生「師」でさえ、走り回るほど忙しい月ということで、「師走」という説があります。先生だけでなく、みんなが年の瀬に向けて気ぜわしくなりますから、普段から気を付けている交通安全ですが、より一層注意深く安全に気を付けていきましょう。

さて、12月22日は、何の日か知っていますか？

ヒント①かぼちゃを食べます。…昔は「なんきん」と呼ばれていました。

「ん」がつくと「運がつく」という言い伝えがあります。

ヒント②ゆず湯に入ります…ゆずの強い香りとお肌を、邪気を払うという目的があります。

ヒント③1年で最も昼が短く、夜が長い日です。

わかりましたか？この日を「冬至」といいます。この冬至の日を境に、また少しずつ昼が長くなっていきます。それを「悪いことが去って、良い方向に転じる」とみて、冬至を「一陽来復」と呼ぶそうです。

今日は、12月を表す「師走」と「冬至」についてお話をしました。おうちの人にも教えてあげてください。



12月の行事予定

2 (木) 委員会活動	20 (月) 短縮4時間 13:45下校
3 (金) PTA常任委員会	21 (火) 短縮4時間 13:45下校
8 (水) 教育相談日	22 (水) 短縮4時間 給食最終日 13:45下校
9 (木) クラブ活動	23 (木) 短縮3時間 11:15下校
14 (火) 賞状伝達	24 (金) 短縮3時間 終業式 11:15下校
16 (木) クラブ活動 1~3年短縮4時間	冬季休業日 12/25~1/6
17 (金) 短縮4時間 13:45下校	12/28~1/3は学校閉庁日となっております。

<修学旅行に行ってきました。>

6年生が11月1、2日に鎌倉・箱根方面に修学旅行へ、5年生が11月

18、19日に名栗げんきプラザに宿泊学習に行ってきました。昨年度は、コロナ禍もあり実施できなかった修学旅行も今年度は全員参加で楽しく行ってることができました。

「親元を離れる。」という体験は、「初めて」という子供も多く、それぞれ緊張した面持ちで参加していました。いつもは重い荷物も大人の手を借りての旅行と言えば「子供は楽チン」だったはずが、荷物も自分で持ち、使った後も自分でしまい、あちらこちらに行くにも「地図」を頼りに動かざるを得ないそんな「不便さ」を感じた1泊2日でした。

それでも、時間が経つにつれ「友達」と一緒にいることで安心し、「地図」を見ることや「人に聞く」ことで、ゴールにたどり着く楽しさを感じ取り、ゴールに着いた時の顔は「安心」と「達成感」でよい顔をしていました。

またホテルでは、「大人と同じように」行動することが強いられました。騒いでよい場所はどこか、ユニットバスはどうやって使うか。カードキーを部屋に入れたままにしないためにどうしたらよいか…大人でもやりがちな行動を6年生として考えさせ、行動させました。なかなか立派な行動の仕方でした。「子供だから」を言い訳にすることなく、できることがたくさんあると気づかされました。

昔から「かわいい子には旅をさせよ」という言葉があります。そんな「旅」になりました。

冬休み、子供たちを成長させるために家庭ではどんな仕掛けをしていますか？

「子供だから」を言い訳にしないでできることを見つけてみてください。

寒くなってきました。ポケットに手を入れたままの歩行は、大げかの原因となります。手袋の着用をお声がけください。

